



定例記者会見

- 熊本地震から1年後の追悼・祈念行事について
- 「くまもと型復興住宅ガイドブック」の完成について
- 草千里における野焼きの実施について
- 世界とつながる熊本の創造に向けた海外での取組みについて
- 八代港における国際クルーズ拠点形成について

高病原性鳥インフルエンザに係る 移動制限区域の解除

- ◆ 発生確認 12月27日
- ◆ 防疫措置完了 12月28日
- ▼ (10日間経過)
- (清浄性確認)
- ▼
- ◆ 搬出制限区域解除 1月12日22時
(半径10km)
- ▼
- ◆ 移動制限区域解除 1月19日0時
(半径 3km)



平成29年4月14日(金) 「熊本地震犠牲者追悼式」



〔時 間〕 午前10時～(1時間程度)

〔場 所〕 県庁 地下大会議室(予定)

〔参列者〕 市町村長、国、県議会議員、国会議員、
遺族代表、関係機関 ほか

※追悼式後、献花台を一般開放

平成29年4月16日(日) 「復興祈念シンポジウム」



〔時 間〕 午後1時～(2時間程度)

〔場 所〕 ホテル熊本テルサ(予定)

〔参加者〕 別途募集予定

〔テーマ〕 熊本地震からの創造的復興に向けて(仮)

〔登壇者〕 「くまもと復旧・復興有識者会議」委員
蒲島知事



「復興祈念ウィーク」

◎熊本地震から1年となる4月中旬の1～2週間を
「復興祈念ウィーク」と位置付け、追悼や復興の
決意を新たにする行事などを県でとりまとめ発信

支援への感謝の気持ちとともに、
復興する熊本の姿を全国に発信

熊本の復興に
向けた歩みを共有

「くまもと型復興住宅ガイドブック」の完成

■ ガイドブックの主な掲載内容

- ・「くまもと型復興住宅」モデルプラン(55プラン)の紹介
- ・モデル住宅(益城町テクノ仮設団地)の紹介
- ・住まいの再建に関する情報(各種支援制度等の紹介)
- ・地域住宅生産者グループ(39グループ)の紹介



草千里における野焼きの実施①

- ◎昨年2月、草千里の北側
約30haで約50年ぶりに
野焼きを再開。
- ◎地震被害により、阿蘇
の草原も深く傷ついた。



↑ 約50年ぶりに再開した草千里の野焼き
(H28.2.27)

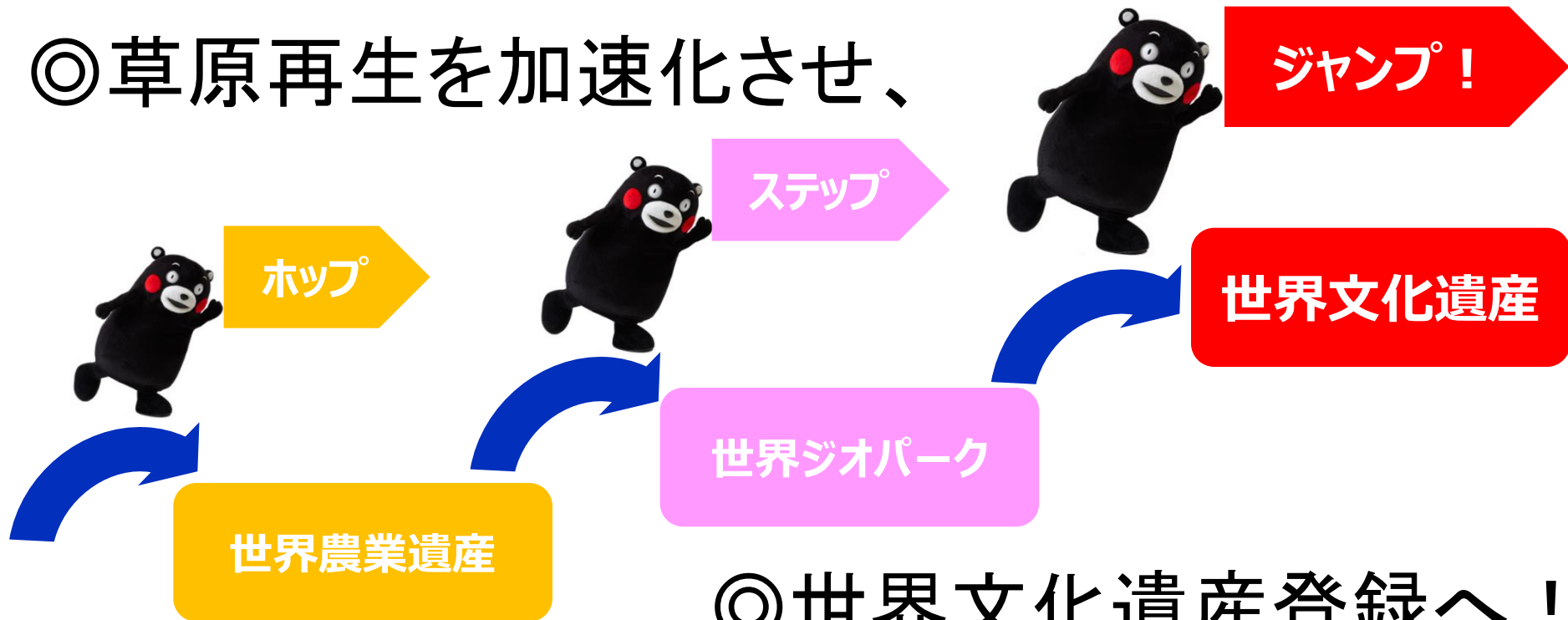
草千里における野焼きの実施②

- ◎地元関係者の熱意により、今春も草千里の野焼きを実施。
- ◎阿蘇^{のろし}地域の創造的復興の狼煙とし、阿蘇の草原や景観を活用した観光誘客にも取り組む。



草千里における野焼きの実施③

◎草原再生を加速化させ、



◎世界文化遺産登録へ！

世界とつながる熊本の創造に向けた 海外での取組みについて

台湾：高雄市との友好交流協定調印

調印日 平成29年1月11日(水)

場 所 高雄市:^{さ え い き ゅ う じ ょ う}左營舊城

内 容 経済、観光、教育、スポーツ、
文化等の分野における友好
交流の推進

その他

- ・亜東関係協会訪問
- ・台南市政府訪問
- ・チャイナエアライン訪問



世界とつながる熊本の創造に向けた 海外での取組みについて

中国：KUMA cafe(くまカフェ)上海店

開店日

プレオープン 平成29年1月13日(金)
グランドオープン 平成29年1月22日(日)

場 所

上海市

内 容

県産品・くまモングッズ及び県産素材を使用した
カフェメニューの販売、観光情報等の発信



店舗イメージ

中国：KUMA熊 桂林の家

開店日

平成29年1月7日(土)

場 所

広西壮族自治区桂林市「桂林超級星百貨店」内

内 容

県産品・くまモングッズ及び県産素材を使用した
カフェメニューの販売、観光情報等の発信



店舗イメージ

世界とつながる熊本の創造に向けた 海外での取組みについて

タイ : CAT EXPO 3D

期 日

平成29年2月4日(土)～5日(日)

場 所

ワンダーワールド(バンコク)

内 容

音楽の屋外ライブイベント会場内の熊本くまモン
ブースにて、くまモングッズ販売、県の観光情報発信



タイ : スカイトレイン(BTS)におけるキャンペーン

期 日

平成29年2月～5月

場 所

BTSの主要な駅構内(バンコク)

内 容

くまモンと熊本城及び阿蘇山のイラストでデザ
インされ、県の観光情報サイトのQRコードがついた乗車カードを販売



1 ロイヤルカリビアン・クルーズ社の概要

Royal Caribbean Cruises Ltd. (ロイヤルカリビアン・クルーズ社)

- 米国マイアミに本社があり、世界第2位のクルーズ船社
- 一方、カリブ海やヨーロッパなどの世界各地で魅力的なクルーズ拠点港を開発



ROYAL CARIBBEAN CRUISES LTD.



《RCL社の5つのクルーズブランド》



《昨年7月7日の熊本地震後の初寄港》

2 八代港の国際クルーズ拠点計画概要

【官民連携による国際クルーズ拠点形成】

- 国は「公共による受入れ環境整備」と「民間による投資の組み合わせ」によるクルーズ拠点形成の新たな制度を検討



「官民連携による国際クルーズ拠点計画書」
の募集を昨年10月に開始



- 県は「ロイヤルカリビアン・クルーズ社」と連名で、八代港外港地区の約16haを対象エリアとして計画書を提出



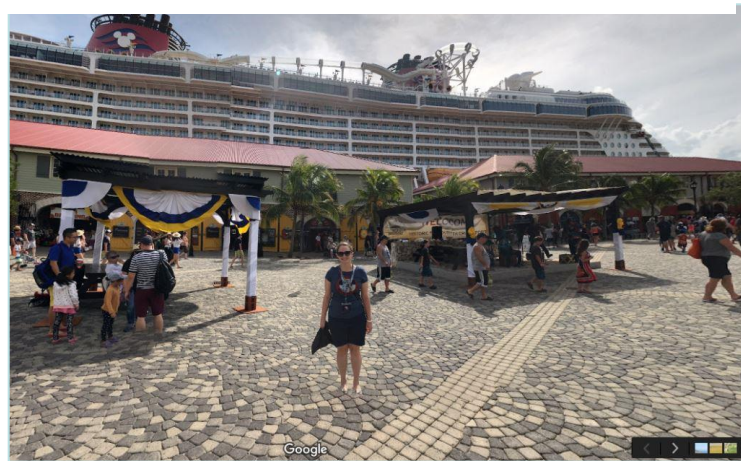
《整備イメージ》

3 国際クルーズ拠点の効果

《八代港全景》



《RCL社が開発したジャマイカ・ファルマス港》



【拠点の効果】

- クルーズ船専用岸壁整備＋旅客ターミナル
⇒ 魅力的なウォーターフロントの創出
- 物流拠点＋新たに人流拠点機能
⇒ 県南エリアの更なる発展の起爆剤



● 世界とつながる熊本の創造